

研究所だより

第382号
2017年 12月22日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“もう いくつねると お正月 お正月には 凧あげて
こまをまわして 遊びましょう はやくこいこい お正月”
『お正月』 1900年 唱歌 滝 廉太郎



～冬来たりなば、春遠からじ～

今年もいよいよ押し詰まりました。22日は、冬至（1年で一番昼が短く、夜が長くなる）。冬の間点にあたりますが、寒さはこれからが厳しくなり、本格的な冬の到来となります。体調管理には十分留意して、年末年始をお過ごしください。

☆第5回教研推進委員会（委員長：岩井 圭先生）

12日（火）に第5回教研推進委員会が開催されました。協議内容を報告します。

1 半日教研の総括について

- ・各部会、講師招聘や小中連携を軸とした公開授業や研究協議が行われている。
- ・半日教研の時間構成について

平成30年度より給食が完全実施となり、給食・昼休みの時間が変更となる。給食指導を終え、5校時の授業を行い、下校指導後、各会場へ移動となると時間的に厳しいのではないかと。また、スクールバスの運用についても教育委員会と協議する必要があるのではないかと意見が出された。

校長会の意見として、「歴史ある教研活動を存続させること、半日教研は給食無しとし、下校指導後、教研活動を行うことを教育委員会と確認している。」とすることでした。

新年度の教研推進委員会で、校時等を確認し、時間構成を決定する。

2 平成30年度組織教研開会行事について

- ・内容：推進委員長の挨拶の中で「教研の歴史、取組等」について触れる。
- ・部会：「平成26年度教研推進委員会での結論を踏襲する。」

・部会：従来の部会を基本とする。（各教科、問題別）

・部会構成：部会成立は、5人以上の部員を必要とする。

国語、社会、算数・数学、理科、外国語については少人数でも存続させる。

但し、技能教科（音楽、家庭、体育、図画）については3人以上の部員で可とする。

○当時の校長会の提起

清水の教育を支えていくためにも教研を存続していく必要がある。

3 平成30年度教研推進委員（地区割り）について

半島地区は、中浜小が休校になるため、足摺岬小は東部地区に入り活動することとする。

4 平成30年度市教研の日程について

- ・組織教研 期日：4月18日（水） 会場：清水中学校
- ・一日教研（1）期日：8月8日（水）午前①開会行事 ②講演会 午後一部会別研修
- （2）会場：土佐清水市中央公民館
- （3）講師：井上 貴美 先生（特別支援教育アドバイザー）
- ・半日教研 期日：11月7日（水）

<土佐清水市教育研究集会・半日教研地区別総括>

1. 日程について

〔西部（下川口・三崎）地区〕

- ・特にありません。 ・この時期でよい

〔半島（足摺岬・中浜）地区〕

- ・良かったです。 ・開催日、日程等適当である。

〔東部（下ノ加江・幡陽）地区〕

- ・この時期になりますね。特にありません。

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・例年通りなので特にありません

〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・特にありません。



2. 時間構成について

〔西部（下川口・三崎）地区〕

- ・特にありません。 ・適切な時間構成だった。

〔半島（足摺岬・中浜）地区〕

- ・良かったです。

- ・午前を短縮授業とし、欠時を出さないようにしたが、今後時数確保（5校時）を考えると開始時刻の検討が必要ではないか。

（例：提案授業14：45～15：30、協議15：45～16：45）

協議時間は、1時間で計画的に、効果的に実施する。

〔東部（下ノ加江・幡陽）地区〕

- ・学校から移動しやすい時間帯でした。これでいいと思います。

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・特にありません。

〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・特にありません。



3. その他

〔西部（下川口・三崎）地区〕

- ・授業を受けて下さった学校、授業者の先生方ありがとうございました。

- ・各部会とも意義のある内容で取り組めた。

〔半島（足摺岬・中浜）地区〕

- ・中学校の先生も交えて研修することは、互いの内実も知ることができ参考になった。

（例えば情報部会。プログラミング学習について中学校の取組を知ることができ参考になることが多かった。）

- ・部会の精選を含め、組織編成が来年度に向け必要ではないだろうか。

- ・人権部会で人権課題を話し合うことによって、中学校へ向けての取組について確認することができて良かった。

〔東部（下ノ加江・幡陽）地区〕

- ・学校から移動しやすい時間帯でした。これでいいと思います。

〔中央Ⅰ（清水小）地区〕

- ・四万十市の研究発表会と重なり、半日教研に参加できない教員もいた。（算数・数学会）

- ・少ない人数でも研究授業を行うなど、計画に沿った運営ができた。

〔中央Ⅱ（清水中）地区〕

- ・特にありません。

☆第1回学力向上検討委員会(11月21日・火) 委員長:矢野川校長(幡陽小)

11月21日(火)に第1回学力向上検討委員会が開催されました。構成メンバーは、幡陽小:矢野川校長・清水中:岡崎校長(校長会)、清水小:岩井先生・清水中:山崎先生(研究主任)、奥谷・勝間(研究所)、田中指導主事の6人で組織されています。委員長には矢野川校長、副委員長には岡崎校長が選出されました。

協議では、市内小中学校の課題と具体的な改善策、特に効果のあった取組・効果のあった家庭学習について協議し、今後の方向性について話し合いが行われました。

各校の取組(抜粋)

1. 全国学力・学習状況調査(標準学力調査サービス)結果の分析について(課題)

- ・自分の考えを論理的に相手に伝えるように話せない。
- ・漢字の読み・書きの力がついていない。
- ・B問題における無解答。
- ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができていない。
- ・立方体などの図形のイメージができていない。
- ・分数が弱い。
- ・問題を順序立てて解くことができていない。
- ・語彙力が不十分で、選択問題での正答率がよくなかった。

2. 今後の計画について

- ・具体的な数値目標を設定し取り組んでいく。
- ・各校の成果のあった改善策を紹介する。

3. 平成29年度高知県学力定着調査に向けて

実施期日:平成30年 1月10日(水)

内 容:事前に示されている(配信済み)「出題予定範囲」を再度確認してください。

☆外国語教育コア・エリア実践研究指定事業☆

各校の推進委員の皆様、自校における外国語教育コア・エリア推進プラン(指導体制の確立、指導方法・学習評価の工夫改善等)の進捗状況はどうでしょうか?外国語活動が校内研の中で位置付けられ、組織として取組が推進されていますでしょうか?平成30年度のからの先行実施に向けて、時間は多く残されていません。2月1日は最後の公開授業と長崎教授の講話となります。一人でも多くの先生方に参加して頂きたいと思っております。

《第5回外国語教育コア・エリア推進会議並びに公開授業のご案内》

期日:平成30年 2月 1日(木) 5校時

会場:幡陽小学校 授業者:下元貴公 先生

=今後の予定=

第6回外国語教育コア・エリア推進会議

期日:平成30年 2月13日(火)

会場:教育センター

☆書籍の紹介I☆ ~ご利用をお待ちしています~

○新教育課程ライブラリII Vol.11

誌上セミナー「新しい学びを起こす授業」

~センタークリスマス一色!~

過日、適応指導教室に通室している子どもたちが、リース作りにチャレンジしました。リースは、一人ひとりの個性と思いが込められたすばらしい作品となりました。そして、22日(金)にはクリスマスケーキ作りにもチャレンジし、本格的なデコレーションケーキを完成させました。完成後は、ミニ・クリスマス会を開催、小中学校の先生方も参加してくれました。弘田課長によるバルーンアートやゲームを楽しみながら、ペラ焼きと手作りのケーキをごちそうになりました。



☆2017年の漢字は「北」☆

日本漢字能力検定協会は、12日に「今年の漢字」を発表しました。このイベントは、12月12日の「漢字の日」に一年を振り返り、漢字一字に込められた奥深い意義を再確認する機会を持つことを目的に始まり、今年で23回目。2017年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」が「北」と決まり、京都市・清水寺の森清範貫主の揮毫により発表されました。

応募者が選んだ理由として、「北朝鮮の動向、北海道産のジャガイモ供給不足(ポテチショック)、7月の九州北部豪雨、葛飾北斎の展覧会、北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手が米大リーグへ移籍、早稲田実業高校の清宮光太郎選手の北海道日本ハムファイターズへの入団、競馬界を賑わせた北島三郎氏所有のキタサンブラックの活躍」などが挙げられたようです。

揮毫した森清範貫主は、「北という漢字は、2人が背を向けて、話をしないという漢字です。みな仲良く話をしないことには通じませんから、一生懸命に平和に向かって努力していくことが大切です。」と述べています。

来る新年が安心して暮らせる年であってほしいですね。

~お知らせ(市教研各部会・研究協力校等関係:期限厳守)~

=各部会共通=

○総括教研部会報告書

○事業実績報告書

○研究集録原稿

提出期日: 1月29日(月)

=研究協力校・研究グループ=

○研究集録原稿

○事業実績・決算報告書

提出期日: 1月29日(月)

提出期日: 2月15日(木)



皆様おそろいにて、良き新年をお迎えください

2018年がお互いの飛躍の年で

ありますようにお祈りいたします

